

福井県立歴史博物館(1/2)

リニューアルした歴史博物館は 遊びが出る博物館です！！

所在地	福井市大宮2丁目19-15		
設置年月日	昭和59年4月8日 (リニューアルオープン:平成15年3月12日)		
施設の種類	博物館	施設管理主体	県
設置の目的	郷土の歴史、民俗等に関する資料の収集、保管および展示等を行い、もって県民の文化の向上に寄与することを目的とする。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上2階、地下1階、延9,044㎡ 展示室(トピックゾーン、歴史ゾーン、オープン収蔵庫)、情報ライブラリー、講堂		
職員数	正職員10人(うち研究員7人)、アルバイト4人 計14人		

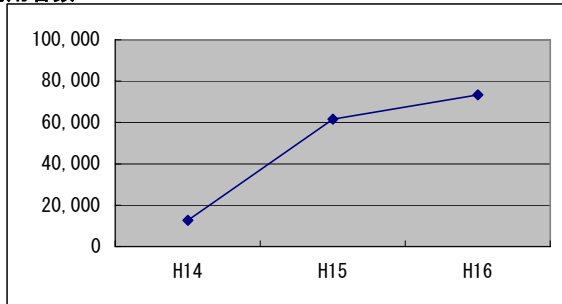
利用状況等

	H14	H15	H16
利用者数(人)	12,638	61,558	73,405
	(開館数17日)		

利用者負担(利用料金)等

入館料 (常設展)	一般・大学生	100円
	高校生以下	無料
	70歳以上	無料

利用者数



利用状況の 推移

平成15年度はリニューアル初年度で6万1千人の来館者がありました。
平成16年度は秋に開催の特別展「昭和の子どもたち」に1万6千人の来館者があり、最終来館者は前年度に比べ約20%増の約7万3千人の来館者がありました。
リニューアル前後の1日あたりの来館者数を比較しますと、2.2倍の来館者があります。

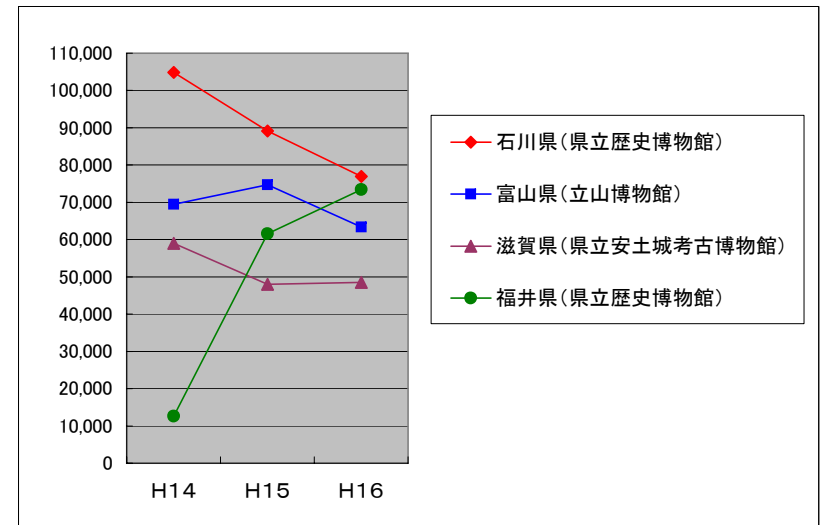
来館者状況
 リニューアル前(平成11~13年度)来館者 92,396人÷開館日数881日=1日あたり104人
 リニューアル後(平成14~16年度)来館者147,599人÷開館日数640日=1日あたり230人

16年度の特徴について

事業実績	展示活動(企画展の実施) 「遊びずむ・遊びすとー6人の遊べる大人のコレクション展」(平成16.4.10~6.20) 「魅惑の紙箱展 箱ワンダーランド」(平成16.7.17~9.20) 特別展「昭和の子どもたち あの頃の学校物語1950's~1960's」(平成16.10.16~11.28) 新春企画「鳥展 Bird World」(平成16.12.26~17.2.27)
	常設展示のフレキシブル展示替え 「昭和のくらし」「歴史ゾーン」……展示資料の一部変更 「ミュージアムシアター」……映像資料の入替 「情報ライブラリー」……ハイビジョン番組の追加「越前焼」
	オープン収蔵庫の展示 ①「発掘速報展」 ②「刀剣展示」 ③「船筆筈」 ④その他(企画展資料の一部展示など)
	調査研究事業 現在のテーマは次のとおり。調査研究後、フレキシブル展示、映像番組制作などに活用 日本海海運関係資料調査(5ヶ年:平成15~19年度) 北海道移住関係資料調査(5ヶ年:平成15~19年度)

利用者数の比較

近府県の類似博物館の利用者状況(県立、人文系)



福井県立歴史博物館(2/2)

行政コスト計算書(平成16年度) (単位 千円)

		総額	構成比
人にかかるコスト	人件費	104,514	30.7%
	退職給与引当金繰入	▲ 2,812	-0.8%
	計	101,702	29.9%
物にかかるコスト	物件費	123,069	36.2%
	維持補修費	8,769	2.6%
	減価償却費	95,400	28.0%
	計	227,238	66.8%
その他	公債費(利子)	8,992	2.6%
	その他	2,318	0.7%
	計	11,310	3.3%
合計		340,250	100.0%

バランスシート(平成17年3月31日現在) (単位 千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	4,623,773	固定負債	1,034,741
投資等	0	流動負債	23,858
流動資産	0	正味資産	3,565,174
計	4,623,773	計	4,623,773



「昭和の暮らし」コーナー



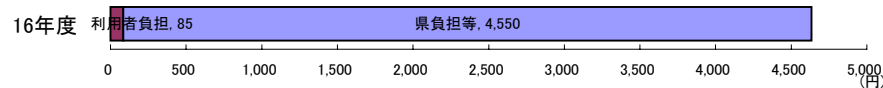
(単位 千円)

収入			
収入	利用料等収入	6,245	1.8%
	その他収入	1,711	0.5%
	一般財源	332,294	97.7%

利用料等収入計	6,245,000 円
利用者1人あたり平均利用料	85 円
利用者1人あたりコスト	4,635 円

施設の特徴	<p>「県立恐竜博物館」の設置に伴い、平成15年3月に「福井県立歴史博物館」と名称を改めて、これまでの総合博物館から人文系の歴史博物館としてリニューアルしました。</p> <p>特に「モノ」を中心とした展示の採用により「昭和の暮らし」コーナー等に代表される、気軽に観覧できるような環境で歴史文化資料に接することができ、従来は敬遠されがちな若者・高齢者の来館が増加しています。</p>
今後の課題	<p>更に利用者増を図るため、マスコミやホームページ等を利用した認知度アップへの取組、リピーター確保のため企画内容の拡大・充実、定期的に資料入替え等に取組んでいきます。</p>

利用者1人あたりのコスト負担の状況



<p>バランスシート、行政コスト計算書の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置が昭和59年と古く、減価償却費の割合が低くなっています。 有形固定資産のうち、建物が3,138,483千円と67%を占めています。 有形固定資産には、收藏品および映像資料745,082千円を含み、全体の16%を占めています。 利用者1人あたりの平均利用料は、常設展観覧料が無料の高齢者および高校生以下の人数が多いため、低額(85円)となっています。
----------------------------	--

<p>今後の事業方針</p>	<p>利用促進を図り、特にリピーター確保のため次のような取組を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 展示活動(企画展の実施)……年4回程度 常設展示のフレキシブル展示替え……年1回 展示コーナーの資料入替……随時
<p>取組み内容</p>	<p>郷土の歴史・民俗関係資料の収集・保管および調査研究を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 貴重な資料を確保し後世に伝えていきます。 資料の調査・研究を行い、後世に伝えていきます。 <p>※平成17年度の企画展などの取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 春企画展「蓄音機オールディーズ」(4/24~6/26) 夏企画展「ピン展」(7/21~9/19) 秋企画展「メガネギャラリー」(10/20~12/4) 福井豪雨メモリアル展示(7/16~) 新春企画「わんだふる犬展」(1/3~2/26)